

平成29年度 行政評価委員会評価表

事業名	エイズ・性感染症対策	担当部	健康部
		担当課	保健予防課

基本情報

施策番号	0301	感染症の発生や拡大を抑制します。
事業の目的	エイズや性感染症について正しい知識の普及啓発をし、感染予防と不安の軽減を図る。 検査陽性を早期発見し、医療機関での適切な治療を促す。	

実施内容	<p>エイズや性感染症の蔓延を予防し、正しい知識の普及啓発のために性感染症予防相談、抗体検査を実施している。また療養支援ネットワークの確立を図り、エイズ患者及びHIV感染者を総合的に支援していくために、エイズ連携会議を開催している。</p> <p>○HIV即日検査、性感染症(クラミジア・梅毒)検査 対象者:検査を希望する者(匿名) 費用:無料 検査日:通年月1回(原則第一金曜日) 検査会場:健康プラザかつしか(保健所) 定員:40名(先着順) 検査方法:採血(HIV検査、梅毒)、採尿(クラミジア) 併せて、エイズ・性感染症の予防等の相談指導を行う。 検査結果:HIV即日検査の結果は、当日受検者に医師より伝える。判定保留の場合は、確認検査を行い、2週間後に受検者に来所してもらい、医師より結果を伝える。 梅毒、クラミジア検査結果は、2週間後に受検者に来所してもらい、医師より伝える。 陽性者への対応:紹介状を発行し、専門医療機関受診に向け、相談支援する。</p> <p>○普及啓発、健康教育 エイズ・性感染症に関する情報を区民に発信する。 中学校、高校の学校保健と協働し、エイズ・性感染症予防について、健康教育を実施する。 大学の学園祭に出展し、パネルを展示、チラシやパンフレットを配布するなど、情報を提供する。</p> <p>○連携会議 HIV感染者、エイズ患者にかかわる保健、医療、福祉の関係機関のネットワークをつくる。 感染拡大の予防や療養支援の対策を検討し、すすめる。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績情報

成果指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	26年度	27年度	28年度	目標	29年度
					目標	実績	実績		目標
実績の評価・分析	HIV陽性者の医療機関紹介率	(当年紹介者数÷当年HIV陽性者数)×100	%	目標	100	100	100	100	100
					実績	100	100		0
<p>本区では、昭和62年2月にHIV相談検査を開始し、平成11年度から性感染症検査を開始。 平成20年度に通年でHIV即日検査を導入したことで受検者数が増加したが、新型インフルエンザが発生し不要不急の用事は避けるよう報道された21年度には受検者数が大幅に減少し、その後も低迷が続いた。輸血による感染事例が発生したことでマスコミ等の報道が後押しとなり、平成25年度、26年度はHIV即日検査の受検者数が増加したが、27年度は再び減少し、28年度はさらに減少した。 一方、HIV陽性者数は受検者数の0.5%以下で推移。平成28年度はHIV陽性者が1人いたが、2週間後の確認検査結果日に現れず、医療機関紹介に至っていないため、紹介率が0%となった。 また、近年、都内において梅毒患者の報告数が急増していることから、性感染症について関心を高めるとともに、検査による早期発見・早期治療が必要な状況にある</p>									



活動指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	26年度	27年度	28年度	目標	29年度
					目標	実績	実績		目標
実績	エイズ・性感染症検査件数と相談件数	エイズ・性感染症検査件数+電話相談件数	件	目標	540	540	540	540	540
					実績	481	433		418
実績	普及啓発健康教育参加者数	受講者数	人	目標	1,370	1,370	1,370	1,370	1,370
					実績	2,438	1,594		1,932

今後の方向性

評価の視点 ①あり方 ②課題	②	エイズ・性感染症の蔓延を予防するため、葛飾区保健所において、感染不安を持っている方に対し、匿名、無料にてHIV即日検査、梅毒検査及びクラミジア病原体検査を実施しているが、平成21年度以降、検査者数は低迷している。 また、近年、都内において梅毒患者の報告数が急増していることから、梅毒検査の必要性はさらに増している状況である。
所管課の見解	改善	エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及を強化することにより、感染予防と不安の軽減を図るとともに、検査者数の拡大を目指したい。 また、HIV即日検査と同じように、検査当日に結果が判明する梅毒即日検査法が新たに開発されたことから、本区においても梅毒の即日検査を導入し、早期発見・早期治療につなげたい。

コスト内訳(決算)(千円)

収入	項目	26年度	27年度	28年度	コストの主な内訳
		特定財源	国庫支出金	1,234	
	都道府県支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源(a)	9,155	8,713	8,744	

事業費	項目	26年度	27年度	28年度	コストの主な内訳
		直接事業費(b)	1,020	968	
	消耗品費	425	504	420	検査キット、衛生材料、啓発用ティッシュ等
	印刷製本費	89	54	83	検査申込書、保健所マップ、啓発冊子
	委託料	506	410	292	梅毒、クラミジア検査委託料
人件費等	職員人件費(c)	8,517	7,633	7,712	
	人件費	8,517	7,633	7,712	
	再雇用職員	0.00人	0.00人	0.00人	
	間接費(d)	852	1,104	1,170	臨時職員(事務、看護師、検査技師、医師)
	調整額(e)	206	566	792	
	減価償却費				
	金利				
	退職給与引当	206	566	792	
	(控)コスト対象外				
	トータルコスト(f=b+c+d+e)	10,595	10,271	10,469	

単位あたりコスト	項目	26年度	27年度	28年度	コストの主な理由
		単位の定義	検査・相談件数 (エイズ・性感染症検査件数+電話相談件数)		
実績数値(g)	481	433	418		
単位あたり区コスト(a/g)	19,033.26円	20,122.40円	20,918.66円		
単位あたりコスト(f/g)	22,027.03円	23,720.55円	25,045.45円		

平成29年度

エイズ・性感染症検査日程表

結果日は、検査当日にお渡しした検査申込控えを必ずお持ちください。
上記の結果日時以外での結果説明はしていません。お気を付け下さい。
匿名検査のため電話での結果説明はしていませんのでご了承ください。

月	検査日	結果日
4月	7日（金）	21日（金）
5月	12日（金）	26日（金）
6月	2日（金）	16日（金）
7月	7日（金）	21日（金）
8月	4日（金）	18日（金）
9月	1日（金）	15日（金）
10月	6日（金）	20日（金）
11月	10日（金）	24日（金）
12月	1日（金）	15日（金）
1月	5日（金）	19日（金）
2月	2日（金）	16日（金）
3月	2日（金）	16日（金）

- ※ 受付時間は、検査・結果日ともに9時から10時まで
- ※ 先着40名で締切ります。
- ※ 実施場所は、葛飾区保健所1階検診エリアです。

HIV 即日検査、STI 検査を受ける方へ

■ HIV 即日検査とは？

HIV 即日検査は、スクリーニング検査法の1つで、迅速診断キットを用いて、血液中のHIV抗体の有無を検査します。

結果は、「陰性」か「判定保留」のいずれかとなります。

陰性：感染の可能性のある機会から3ヵ月以上*経過してから検査を受けた場合は「HIVに感染していない」ことを意味します。

判定保留：即日検査では100人に1人位の割合でこの結果が出ます。確認検査を行い、2週間後に結果をお知らせします。

※検査を受ける時期について

HIVに感染しても感染初期には血液中に抗体が検出されない期間があります。この感染初期（感染後約3ヵ月まで）に検査をすると、感染していても正しい結果が出ないことがあります。

今回、検査前3ヵ月以内に感染機会があった場合、感染の有無について、確認するためには、感染機会から3ヵ月経ってからの再検査が必要です。

■ 本日の流れ

1. 受付：検査申し込み用紙とアンケート用紙に記入し、お待ちください。
2. 問診：検査申し込み用紙の右上の番号でお呼びします。心配なことなどありましたら、ご相談ください。
3. 採尿：クラミジア検査を希望の方は、トイレにて採尿をしてください。前回の排尿から1時間以上経過していることが必要です。
※25年4月から、クラミジア検査が従来の血液検査から尿検査に変更され、より正確に判定ができるようになりました。
4. 採血：結果を聞く方には、採血室の入口で黄色い番号札をお渡します。採血室で採血を行います。採血後は、5分程度しっかり押さえ、出血がおさまっていることをご確認ください。
5. 結果：採血前にお渡しした黄色い番号札の番号でお呼びします。
6. アンケート：終了後、アンケートにご協力をお願いいたします。
記入後回収箱に入れてお帰りください。

◎検査結果をお待ちになる間に外出する方は、受付に黄色い番号札を預けてから外出し、午前11時までには、必ず戻るようにしてください。

◎匿名検査のため、相談結果を電話でお伝えすることはできません。

◎相談内容などにより、順番が前後することがありますので、ご了承ください。

HIV・AIDSの相談は…

葛飾区保健所 保健予防課 感染症対策係まで : 03(3602)1238

HIV即日検査・性感染症検査 集計表 (平成26年度から平成29年度 月別受検者数)

()内、陽性者数

月	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	受検者数	検査内訳			受検者数	検査内訳			受検者数	検査内訳			受検者数	検査内訳		
		HIV即日	梅毒	クラミジア		HIV即日	梅毒	クラミジア		HIV即日	梅毒	クラミジア		HIV即日	梅毒	クラミジア
4月	48	48(0)	32(1)	30(1)	34	34(0)	11(0)	12(0)	24	24(0)	15(1)	13(1)	31	31(0)	20(1)	19(1)
5月	41	41(0)	18(0)	20(1)	35	35(0)	22(0)	20(0)	29	29(0)	13(0)	12(0)	20	20(0)	15(0)	14(1)
6月	48	48(0)	27(0)	27(2)	45	45(0)	27(1)	28(1)	29	29(0)	19(0)	18(2)				
7月	44	44(1)	21(0)	20(2)	36	36(0)	15(0)	14(0)	25	25(0)	11(1)	11(0)				
8月	36	36(0)	18(0)	17(0)	37	37(0)	20(0)	19(0)	30	30(1)	16(0)	15(0)				
9月	36	36(0)	22(0)	22(1)	40	40(1)	25(0)	24(0)	24	24(0)	12(0)	9(0)				
10月	36	36(0)	14(0)	14(1)	36	36(0)	18(0)	15(2)	36	36(0)	25(0)	25(3)				
11月	39	39(0)	21(1)	22(0)	41	41(1)	23(0)	20(1)	42	42(0)	28(2)	24(0)				
12月	37	37(1)	22(1)	22(0)	44	44(0)	26(0)	25(2)	41	41(0)	27(1)	25(0)				
1月	23	23(0)	14(0)	13(3)	21	21(0)	11(0)	9(1)	21	21(0)	11(0)	14(2)				
2月	36	36(0)	22(0)	19(0)	24	24(0)	10(0)	10(0)	30	30(0)	19(1)	15(3)				
3月	42	42(0)	22(0)	21(2)	23	23(0)	7(1)	8(1)	29	29(0)	22(0)	20(0)				
合計	466	466(2)	253(3)	247(13)	416	416(2)	215(2)	204(8)	360	360(1)	218(6)	201(11)	51	51(0)	35(1)	33(2)

※検査項目は、受付時に受検者が選択。

HIV即日検査 集計表

(平成26年度から平成29年度 性別年代別受検者数)

()内、陽性者数

男性	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
10代	2(1)	1(0)	6(0)	0(0)
20代	84(1)	67(2)	78(0)	13(0)
30代	105(0)	105(0)	87(0)	9(0)
40代	77(0)	82(0)	61(1)	14(0)
50代	28(0)	28(0)	29(0)	5(0)
60代以上	24(0)	14(0)	22(0)	2(0)
不明	6(0)	1(0)	0(0)	0(0)
小計	326(2)	298(2)	283(1)	43(0)

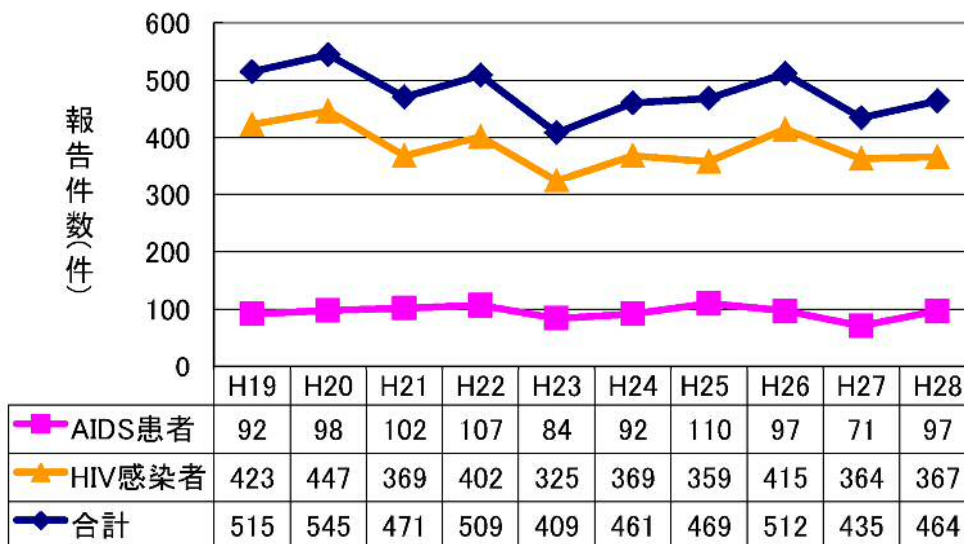
女性	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
10代	1(0)	1(0)	4(0)	0(0)
20代	64(0)	56(0)	35(0)	1(0)
30代	38(0)	27(0)	14(0)	4(0)
40代	28(0)	28(0)	17(0)	2(0)
50代	4(0)	5(0)	4(0)	0(0)
60代以上	5(0)	1(0)	2(0)	1(0)
不明	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)
小計	140(0)	118(0)	77(0)	8(0)

男女計	466(2)	416(2)	360(1)	51(0)
-----	--------	--------	--------	-------

エイズ・性感染症の動向について

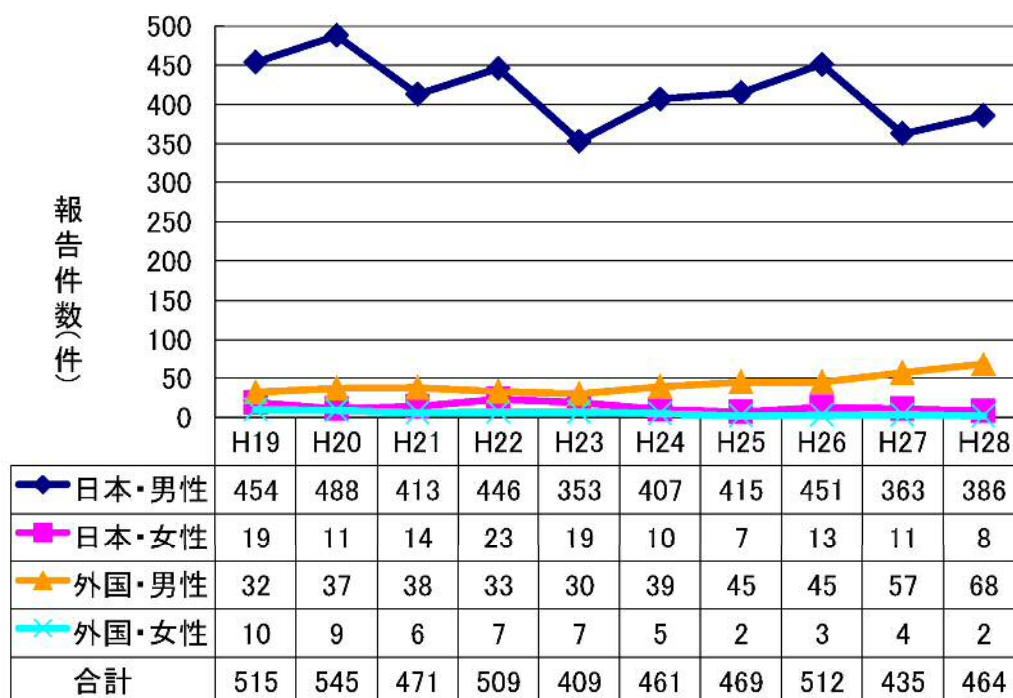
1. HIV 感染症及び AIDS 患者の発生動向(東京都)

※感染症法第 12 条の規定による発生届



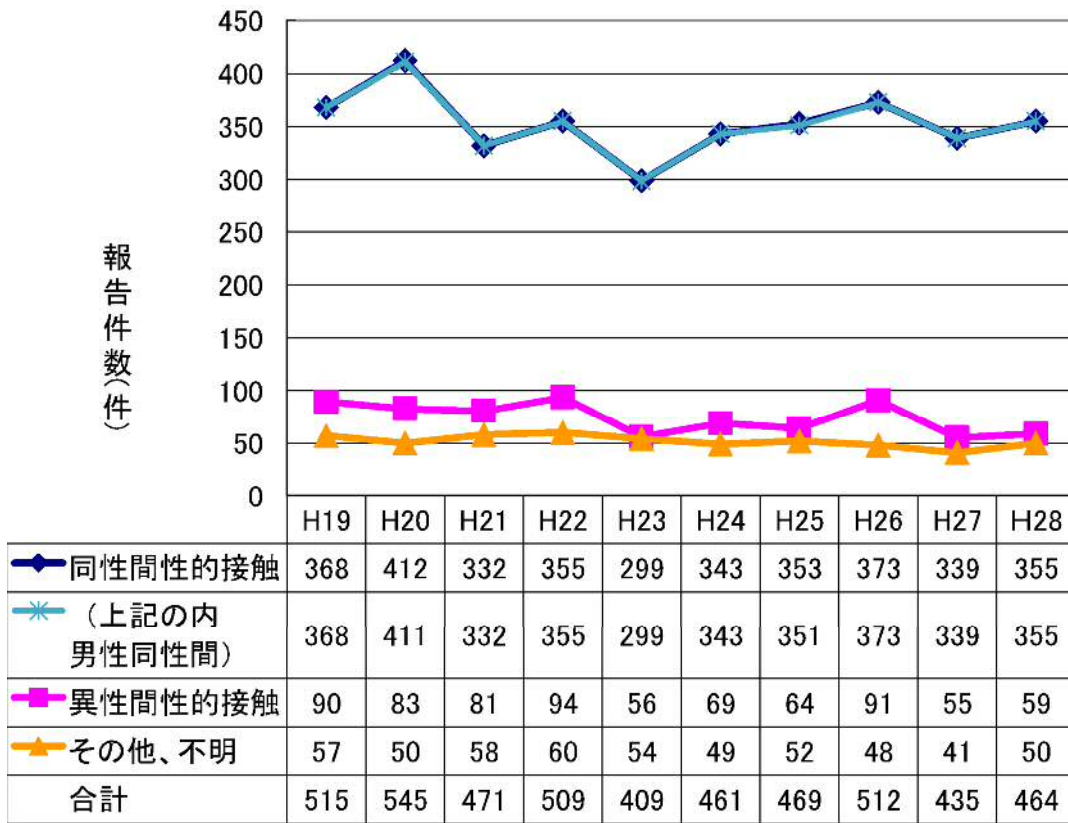
出典:東京都エイズニュースレター165号

(国籍、性別の推移)



出典:東京都エイズニュースレター165号

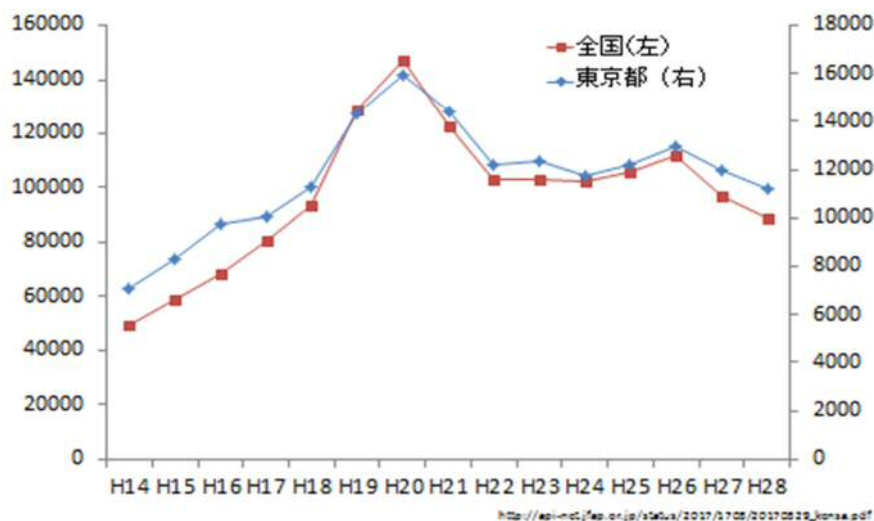
(推定感染経路別推移)



出典: 東京都エイズニュースレター165号

2. 保健所等における HIV 検査の推移

保健所等におけるHIV検査件数の年次推移



出典:API-NET(公財)エイズ予防財団ホームページ

○保健所等における HIV 検査の現況

1987(S62)年 保健所において匿名の HIV 抗体検査開始

1993(H5)年 HIV 検査が無料化

～2008(H20)年 HIV 検査の受検者は増加傾向

2009(H21)年 新型インフルエンザ流行に伴い、受検者が低迷

2013(H25)年 輸血による感染事例の報道により、受検者が一時増加
その後、再び低迷している。

出典:保健所等における HIV 即日検査のガイドライン(第3版)
API-NET(公財)エイズ予防財団ホームページ

3. 梅毒の発生動向(東京都)

※感染症法第12条の規定による発生届

梅毒患者が急増しています！



梅毒は
セックスのときに
粘膜や皮膚の
小さな傷から
感染します



オーラルセックス(口腔性交)
やキスでも感染する！

症状が出ても痛くない！

免疫ができないので
何度でも感染する！



症状がないこともある！

最初の症状は1か月程で自然に消えるので治ったと思いきわること

症状がなくても、パートナーを
感染させることもある！

パートナーも
梅毒検査を受けたり、医療機関を受診しましょう！

予防には、コンドームの正しい利用が有効です！！

出典：東京都福祉保健局ホームページ「梅毒について」

梅毒検査の比較

	現行の検査	即日(迅速)検査(イムノクロマト法)
検体	血液(血清)	血液(血清)
検査の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ①採血 ②委託検査機関に検査を依頼する。 ③委託検査機関より検査結果が届く。 ④2週間後の結果日に、本人来所の上説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ①採血 ②検査会場にて、検体を遠心分離機にかける。 ③血清を抗トリポネーマパリダム抗体検出シートに滴下。 ④15分間静置後、判定ラインを確認。 ⑤検査当日に検査結果を本人に説明。
検査会場の必要物品	<ul style="list-style-type: none"> ・採血物品 ・検体保管 	<ul style="list-style-type: none"> ・採血物品 ・遠心分離機(HIV即日検査も使用) ・抗トリポネーマパリダム抗体検出用シート ・チップ式マイクロピペット ・タイマー ・チップ捨て
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・梅毒感染治療後の陽性の判定が一部可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人への結果説明が検査当日である。 ・スクリーニング検査に適している。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・本人への結果説明が2週間後である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・梅毒感染治療後の陽性の判定が困難な場合がある。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年5月より台東区にて即日(迅速)検査開始

エイズ・性感染症予防及び蔓延防止の普及啓発健康教育について

1. 中学校、高校の健康教育の実施件数

年度	回数	人数
平成 24 年度	12 校	1505 人
平成 25 年度	11 校	1391 人
平成 26 年度	9 校	1120 人
平成 27 年度	6 校	594 人
平成 28 年度	7 校	732 人

【教育目標】

- 正しい知識を得る
- 予防方法を知り、自らの予防行動を考えられる
- 身近な人がエイズになった場合、理解し支援しようと考えられる

【使用教材等】

- DVD「エイズなどの性感染症の予防」、「性感染症」
- 職員作成のパワーポイントによる説明
- ロールプレイ、体験談の朗読

【主な内容】

- エイズ、性感染症の病気について
- 感染の機会、感染経路について
- 感染を予防するために
- エイズ、性感染症の最近の動向

2. 大学でのエイズキャンペーン実施

年度	実施校	延べ人数
平成 24 年度	1 校	1,471 人
平成 25 年度	1 校	1,309 人
平成 26 年度	2 校	1,318 人
平成 27 年度	2 校	1,000 人
平成 28 年度	2 校	1,200 人

【実施内容】

- 区内大学の大学祭にエイズ・性感染症に関するブースを出展
- エイズ・性感染症のパネルの展示
- 保健師による感染症相談
- エイズ、性感染症のパンフレットの配布
- エイズ・性感染症の検査の紹介